

## 令和7年第2回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和7年2月25日(火) 14時00分
- 2 閉会日時 同日 15時21分
- 3 開催場所 市役所1階 多目的ホール
- 4 出席者 教 育 長 菅 野 恭 介  
委 員 中 川 和 之  
委 員 楠 田 初 美  
委 員 深 田 英 世  
委 員 荒 木 努

5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	伊 藤 勝
次長兼教育総務課長	井 上 英 文
学校教育課長	小 坂 卓 司
こども未来課長	阿 木 博 信
生涯学習課長兼市史文化財係長	北 島 悦 乃
総合教育センター所長	三 村 尚 彦
図書館長	桜 井 雄 一 郎
学校再編室長	中 井 孝 浩
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ち あ き
学校再編室(学校再編推進員)	吉 村 靖

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移ります。

6 付議事項

議案第1号 加西市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

議案第2号 令和7年度加西市立公立学校の管理職人事内申について

7 議題となった動議を提出した者の氏名

教育長より、本日の議案第2号は人事案件であるため、加西市教育委員会会議規則第15条第1項のただし書の規定に基づき非公開とすることを諮り、出席者(5名)の

全会一致で承認を得ました。

会議の進行上、先に報告事項を行い、議案第2号は休憩を挟んだ後に非公開で審議しました。

## 8 質問及び討議の内容

### 議案第1号 加西市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

(こども未来課長の説明) 議案第1号、加西市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について説明いたします。児童福祉法の改正により乳児等通園支援事業が市町村による認可事業として位置づけられました。乳児等通園支援事業についてはその設備及び運営について、市の条例で基準を定めなければならないこととされており、当該条例を定めるに当たっては内閣府令に定める基準に従い条例を定めるものとされております。内閣府令で定める基準の主な内容としましては、事業者による安全計画の策定や事業所の設備や面積の基準、職員の配置人数の基準などであります。

## 9 議決事項

### 議案第1号 加西市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

原案どおり可決

## 10 報告事項

### 教育長

1月25日には、社協まつりがありました。西在田小学校、善防中学校、北条高校の生徒が発表をいたしました。どの発表も非常にすばらしい発表でありました。

1月26日には、文化財防火訓練が酒見寺、法華山一乗寺において消防団、消防署、そして地域の方が一体となって行われました。また、同日午後からは東はりま芸能祭が市民会館で開催されております。

1月29日には子ども子育て会議が行われ、今日の資料にもあるように子ども・子育て支援計画について審議をいたしております。

1月30日には、統合中学校開校準備委員会をコミュニティセンター3階で実施して

おります。

1月31日には、東播磨・北播磨地区視聴覚教育研究大会が、健康福祉会館で開催されました。

1月31日には、代表区長会が行われました。

2月3日には、議会総務常任委員会が開かれました。

2月6日には、播磨東教育事務所との協議がありました。

2月9日には、区長会総会が健康福祉会館で行われました。

2月12日には、史跡玉丘古墳群整備検討委員会が行われました。

2月13日には、統合中学校の設計に関する中学校との打合せが行われました。同日地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」推進協議会が総合教育センターで行われています。

2月17日はひょうご TECH 授業——兵庫県等の連携事業で、デジタルアニメーションの授業を日吉小学校で行っていただいております。また、同日統合中学校の設計協議を行っています。

2月18日には、泉小学校開校準備委員会の打合せがありました。

2月19日には、第2回播磨東教育長会議がありましたが、私は所用で出席できませんでしたので、オンラインで教育部長が代理で出席いたしております。

2月20日には、加西市と北条高校との包括連携協定の調印式が行われ、様々な形で今後とも連携をしていこうということで連携協定の調印式を行っています。

2月21日には、教育委員の皆様と打合せをしました。

2月23日には、兵庫県立フラワーセンターの写真コンテスト表彰式があり、出席いたしました。

#### **次長兼教育総務課長**

令和7年度に予定をしています第4次加西市教育振興基本計画策定のため、加西市教育振興基本計画審議会設置要綱の制定について報告します。第3次加西市教育振興基本計画は令和2年度に、令和3年度から令和7年度までの5か年の加西市における教育振興のための施策に関する基本的な計画として策定しました。令和7年度中に、令和8年度からの新たな第4次加西市教育振興基本計画を策定するため、加西市教育振興基本計画審議会を設置する必要があり、今回この審議会の設置要綱を定めるものです。内容としましては、審議会の組織は学識経験者、学校・園関係者、社会教育関係者、市民及びその他教育委員会が特に必要と認める者としています。令和7年4月1日施行とし、基本計画の策定ができれば効力を失う時限立法的な要綱です。

#### **こども未来課長**

第3期加西市子ども・子育て支援事業計画の策定について説明します。第3期加西

市子ども・子育て支援事業計画は、全ての市町村が策定することとなっており、加西市が取り組むべき質の高い幼児期の教育、保育の総合的な提供と地域の子育て支援の充実を目指すための計画です。令和7年度から5か年を計画期間とし、安心して子どもを産み育てられる体制づくりを基本理念として掲げ、取り組むべき内容を五つの安心プロジェクトとして示し、妊娠期から安心して子育てができる切れ目ない支援を行い、保育サービスの計画的な整備や加西市の特性に応じた子育て支援策を計画的に進めることを目指しております。

#### 総合教育センター所長

令和6年度教職員研修講座のまとめについて報告します。教職員の資質能力向上を狙いとし、昨年度末に実施した教職員アンケートで希望の多かった内容や講師を考慮し、40講座を開設しました。実施に際しては、小・中・特別支援学校教職員はもちろん、公立だけでなく私立を含めた園職員も参加できるよう、時期や日程等を調整しました。残念ながら25番の「教師力向上研修(1)」は、台風の影響で中止となってしまいました。

教育講演会においては加西市でも喫緊の課題となっている不登校児童生徒の支援の在り方について、市内全教職員で考える機会を持つことができました。また、加西市の教育を熟知した退職校長を初め、退職教諭や教育委員会の指導主事等を講師に招聘することで、教職員の意欲を一層喚起し、キャリアステージや担当の分野に応じた研修ができただけでなく、民間から講師を招聘することで、新たな視線で教育課題を考えることができました。

令和7年度教職員研修講座の開設に向けアンケートを実施し、校長会との協議も始めています。時代や社会の変化に合わせた研修観のさらなる転換を図るとともに、研修講座の受講により学校現場の運営や教職員の負担が大きくなるないように、できるだけ講座開設の時期、時間帯を精選していきたいと思います。来年度も教職員のニーズに応じていく実効性のある講座を目指して、十分に検討し準備を進めてまいります。

#### 教育委員の質問と回答

- ・研修講座をいろいろ開設してこられたので、スキルはかなり上がってきているかと思うのですが、2、3年前かその前から言ってきたことなのですが、参加者を増やすためにZOOMやウェブでの講座というのは、全然やっていないのですか。  
(総合教育センター所長の回答) そうした講座がないというわけではないのですが、研修講座は講師や受講者が互いの空気感を感じながらの研修を目指していますので、オンラインやハイブリットよりも対面型の研修講座を増やしております。

- ・対面とウェブの二つで一度に研修を行うというのは、難しいものですか。中には行きたいけれども、時間が取れないという人もいると思うのですが。  
(総合教育センター所長の回答) いくらかは後でウェブに流したりもしていますが、基本的には対面講座で行っています。
- ・後でも見られるという講座は参加される先生には好評ですか。そこまでアンケートは取っていないですか。  
(総合教育センター所長の回答) 後から見た方の感想というのは特に聞いていないので、わかりかねるところですが、やはりじかに講師と対面してその話の空気感を感じていただくことが一番大事だと思っています。
- ・先生の中には「この講座を聞きたかったから、後で見たい」という方も多分あるような気がするのですが、皆さんに一回少数でもいいので意見を聞いて、できるだけYouTubeか何かで流してあげたら、好きな時間に見られていいのではないかと思います。対面でやれば一番いいと思うのですが、私も職業柄、必要な研修は、後からでもウェブで見るのが日常になっています。  
　　プラスアルファ YouTube で流しておくだけで、あとは先生方が都合のいい時間に見られると思います。一度検討してみたらと思います。全ての研修を一度にとというのは多分、無理があるので、例えばある講座だけ流してみて、どうだったかという意見を聞かれるほうがいいと思います。これだけ良い計画と良い講座をしているのでと思います。  
(総合教育センター所長の回答) それもニーズによりますし、研修の全体像がどんなものであるかにもよります。講師の話一辺倒の研修ならウェブで流しても効果があると思うのですが、グループディスカッション等をする研修に関しては、ウェブで流すというのは難しいと思います。  
(教育長の回答) 例えば教育長会議もオンラインでされるものもあります。研修の内容によって、特に報告であったり、いわゆる知識の伝達のようなもの等も含めれば、オンラインも検討できるかと思います。あわせて、今もありましたように良い研修がたくさんありますので、確かに教員が後から見る事が可能であれば、それも検討できるかと思います。今後、センターと合わせて検討したいと思います。
- ・こども園の先生方の研修についてです。「三つ子の魂百まで」と言われるように、私事ですが初めて孫ができて、その成長は一日一日目覚ましいものです。ほかの先生方の研修も大切ですけど、特にこども園の先生方の研修はとても大切だと思っています。公立の先生方だけでなく、特に私立の先生方の出席率というのは、近年どのようになっていますか。増えているのでしょうか。

(総合教育センター所長の回答) この場で私立の先生方だけの出席率というのはわかりかねるのですが、なるべく公立園だけでなく、私立園からも出席していただけるように工夫をしております。

- ・最後の「成果と課題」のところを過去の分と比べてもう一度見させていただきました。去年課題として挙がっていた点について、今年具体的に何をしたかということは、今まで結構、抽象的なことを書いている感じがしました。例えば、今回でいうと課題として「学校現場の運営や教職員の負担が大きくならないように、研修講座を精査する」とありますが、来年どうするかということを表に出している資料は何かあるのですか。多分、具体的にはなかなか書きづらいと思いますが、少しぐらいは残しながら、去年、一昨年はこうしたけれども、今回はこうやったということができるのであれば、何か計画や検証を表に出したほうが、皆さんも資料のそこに目が行きますし、良い意見も出るような感じがします。何か様式があるのかなと思ったりしました。それは特にないのですか。

(総合教育センター所長の回答) 特に資料はありません。教職員アンケートの中の記述からまとめていますので、特に様式といったものもないです。

- ・教職員アンケートでは、教職員の負担があるという意見が毎年出ているということですね。

(総合教育センター所長の回答) そうですね。学校規模によっては、数人出ていくと学校運営がままならないというところで、「なかなか参加しづらいので時期を考えてほしい」とか、「夏季休業中は休みが取りにくくなる」といった様々な意見がありますので、それを全部精査しきって研修講座を組むことはなかなか難しいかと思えます。だから、学校のニーズには応えつつも、どうしてもいくらか無理をしないと仕方がないところもあろうかと考えております。

- ・研修は多分、多岐にわたるので、どうしても多くなると思うのですが、毎年、最低限というのが、大体これぐらいになってしまうということですか。

(回答) そうですね。特に 16 番から 24 番というのは、校長会の各教科主催の研修とコラボレーションしていますので、この辺が多いか少ないかによって若干講座数は増減すると思うのですが、大体 40 講座ぐらいになってきます。

- ・講座が終わって、アンケートとかは全部取っている状況ですか。

(総合教育センター所長の回答) はい。

- ・アンケートの感じから少し不評だというのは外しているということですか。

(総合教育センター所長の回答) 不評だった講座に関しては外していきますが、講座を外すというよりも、講師を考え直すというパターンのほうが多いかと思います。

- これは、教育委員会点検評価で、講座に関して5点満点で評価をしているものですか。

(総合教育センター所長の回答) そうです。今年度は今、集計中です。

- 前からずっと全ての講座を平均して大体4点いくらかで、良い評価であったからこのまま残っているのかと思っていました。例えばある講座が3.1とか2.5とかだったら、省くように考えるけれど、全ての講座の評価が4点いくらかで全てが良いというような評価が出ているので、このまま続けているのかと思っていますが、そのとおりですか。

(総合教育センター所長の回答) そうですね、ただ講師を変えないというのは聞き手が飽きてしまう部分もあります。

- でも、講座の最後のアンケートで先生方の評価は、「よかった」という4や「とてもよかった」という5だから、それでいいのではないかと思います。もし一つか二つでも「普通」という3やこれはどうだったかなということだったら、省いていてもいいとは思いますが、アンケートはずっと毎年4点以上です。だから、このまま続けてもいいと思います。データがなかったら検討したらいいと思いますが、毎年アンケートをするといつも4.6か4.7ぐらいですよ。

(総合教育センター所長の回答) 4.5から4.6、7の間です。

- ちなみにこのアンケートは記名式で、その場で回収しているのですか。

(総合教育センター所長の回答) 期日を決めてウェブでアンケートを行っています。記入者はわかります。

- それでも、例えば4.6から4.4や5というような傾向の変化は、わかるようになっているのですか。要はそこで判断しているということですか。

(総合教育センター所長の回答) そうです。

(教育長の回答) 委員のおっしゃっていることは、ここにあるいろいろな課題に対して次年度にはこういうふうに変更したというようなことが明確にあったほうがわかりやすいということかと思いますが。一番下にもある「なかなか時間がない」や「学校から抜けられない」というような場合、例えばオンラインを一回考えてみて実際にやってみましたが、オンラインではなかなかということで戻しましたというように、実際にやってみましたが駄目だったということはいろいろあると思いま

す。

でも、そういういわゆる今の課題に対してこういうふうにやってみて、それでうまく行けばオーケーだし、駄目だったら次の改善というふうに、研修講座もブラッシュアップしていけたらと確かに思います。何をどうするかというのは、センターで考えていただくことだと思いますが、ここにあるような課題に次年度どういうふうに対応していくかということも含めて考えてもらえたらと思います。

- ・講座に関して聞いて、その内容を子どもたちに実践してどうだったのかというところまでやれば、難しいとは思いますが、講座の振り返りができると思います。そこまでやれば課題についてもどうやったらいいのかが出てくるかと思うので、後でやるのは難しいですが、やってみたらいいと思います。

(教育長の回答) オンラインの講座では、やはり対面講座と同等の効果を出すというのはなかなか難しいと思うのですが、ただ聞かないよりはいいですし、「聞いたかった」という声もあると思いますので、その辺はアンケートの結果や各学校のニーズを吸収して方法を考えていただきたいと思います。

#### 図書館長

令和6年度図書館アンケートの結果について報告します。こちらのアンケートは図書館利用者及び図書館を利用していない人の意見を把握して、今後の図書館サービスの充実の参考とするために実施しました。また、本アンケートの結果は、国のデジタル田園都市国家構想推進交付金事業の重要な業績評価指標の一つとして設定しております。実施形態は紙とウェブで実施しました。ウェブ回答者で希望者に健幸ポイントを20ポイント付与する特典をつけています。実施期間は令和7年2月3日から2月16日で、有効回答数は館内で14名、ウェブで914人の合計928人でした。

まず、回答者の内訳についてですが、利用の有無では「利用している」が52%、「利用していない」が48%でした。また、アンケートの回答者の7割が女性で、70代以上は「カードを持っているが、図書館を利用していない」という割合が高くなっています。小学校区別では、図書館から遠方になる地域の方は利用していない割合が高くなっていますが、日吉校区と西在田校区は遠方にもかかわらず利用している割合が高くなっています。

次に、図書館を利用する人の回答は以下のとおりです。利用頻度については「年に数回利用する」人が最も多く、次に「月2回から3回利用する」人が続きます。これは本の返却サイクルで継続して利用されていると考えられます。利用者の図書館滞在時間については、ほとんどが「30分以内または1時間以内」です。1時間を超えて滞在する人は13%程度です。利用目的については、本や雑誌の貸出し返却が圧倒的に多く、滞在型利用では本の閲覧及び雑誌新聞の閲覧が多くなっています。充実してほし

いジャンルについては、多い順に趣味、実用書、小説となっており、健康、医学書も大きく増加しています。

次に、図書館の満足度ですが、いずれの項目についても「満足」、「やや満足」が多くなっています。ただ、開館時間や本や雑誌等の探しやすさ、他の利用者のマナーについては、他の項目に比べて少し「不満」、「やや不満」が多くなっています。満足度の項目を「満足」3点、「やや満足」を1点、「やや不満」をマイナス1点、「不満」をマイナス3点としてスコア換算した結果、年代別で表のような平均点数になっており、全体では平均17.8点になっています。

次に、サービスの利用度、認知度については、サービス項目ごとに利用度や認知度に大きな差が見られます。公式LINEは新しいサービスですが、利用度が高くなっています。加西市以外での返却、読書手帳、レファレンス、電子図書館、それからフリーWi-Fiの項目については、認知度が低くなっています。利用度、認知度の項目で「利用したことがある」を3点、「知っている」を1点、「知らない」を0点としてスコア換算した結果、年代別では表のような点数になっており、全体では平均13.1点となっています。満足度のスコアと利用度、認知度のスコアを合わせて十段階評価にした場合、今回の評価は5となり前回と同じ評価になっています。

続いて、図書館を利用しない人の回答は以下のとおりです。図書館を利用しない理由としては、「本は自分で購入する」、「本を読まない」、「自宅や職場などから遠い」という順に多くなっています。また、図書館を利用するための条件に「家の近くで返却や予約の受け取りができるようになる」との回答が多くありました。これらの結果から、公民館や総合教育センターでの図書館の本の返却と予約本の受取サービスや電子図書館サービスの認知度を高めることで、少しでも利用者を増やすことができると考えます。

アンケート全体を通して、結果としては前回から大きく変わった点はなかったと思います。ただ、従前より実施しているサービスでも知られていないものも多くありますので、さらにPRしていく必要性を感じております。今後も図書館の便利なサービスを多くの方に知っていただき利用していただけるよう、普及啓発に努めたいと考えております。

#### 教育委員の質問と図書館長の回答

- ・フリーWi-Fiがあるのですね。知りませんでした。「フリーWi-Fi使えます」ということで何か貼っているのですか。それがあつたら私はずっといるかもしれません。ただ、貼ってあつても認知度は低いですね。もっと広報したらいいのではないですか。広報かさいに載せるとか、フリーWi-Fiの認知度を高めれば、逆に利用者が増えるのではないかと思います。昔はインターネット好きだったので、図書館へ来てイ

インターネットを使って調べていましたが、スマホ時代になってからパソコンを利用するということはまずないです。例ですが、フリーWi-Fiについてもっとわかりやすくあちらこちらに貼っておくと、利用しに来る人が増えそうな気がするのです。

(回答) フリーWi-Fi 以外の取組み、例えばスマート図書館のようなサービスやなかなか知られていない部分がほかにも多くありますので、そうしたことも含めてどのように PR していけるのかを今後検討させていただきたいと思っています。

- ・私も一昨年だったか、善防公民館での電子図書館の講習会を見に行ったのですが、あまりにも参加している人が少なかったのが、いきなりでもいいので図書館で何人か集めながら「やりますよ」とやったほうが、認知度も上がるし操作方法がわかる人が増えることで、電子図書を使う方がおのずと増えていくと思いました。今の時代はもう全部が電子だから、その場で四、五人でもいいので集めてやったら、それが積み重なって行って、100 日あれば 400 人ぐらい集まるかもしれないですし、使う方も増えるかもしれません。難しいですが、まずは簡単な LINE アカウントのやり方から教えてあげてください。

(回答) そうですね。2 年前ぐらいに各公民館へ啓発活動で回らせていただきました。そのときは導入し始めたばかりで、来られた方にやり方を教えていただくのは業者に依頼していましたが、今はもう職員で教えることができますので、全く同じようなやり方になるかわかりませんが、何らかの方法で考えていけたらいいと思います。

- ・働き方改革もありますので、時間外ではなく時間内でやらないといけません。80 代以上の方はずっと図書館にいるという方もありますので、そうしたばつと四、五人でも集めて、たとえ 30 分でもいいから「これはすごいんだね」というようにやったらいいいと思います。そういう集客方法も一つにあると思います。

もう一つは返却する場所を増やすということですが、やはり働き方改革があるので大変ですね。例えば善防公民館など返却した本を誰が取りにいつているのですか。

(回答) 図書館以外の返却場所としては各公民館、総合教育センターがあり、シルバー人材センターに回収を委託しております。

- ・わかりました。良いアンケートですので、長所と短所を見て検討した上で、集客に努めていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

- ・電子図書館ですが、利用の傾向や利用者の年代はわかっているのですか。

(回答) 学校での利用が多くなっています。これは導入当初からで朝の朝読であったり、調べ学習であったりといったことに使っていただいているところが多いです。

- ・一般で電子図書を利用している人には何かメリットがあるのか、電子図書のほうがよかったという点があるのか、高齢者でも結構、使われているのかということをお聞きしました。というのも、電子図書を使ったことがなければ、そういうことはわからないと思うからです。もし周知や広報できたら、少しは使ってみようかなと思う人が増えるのではないかと思います。

(回答) 電子図書館のPRについては、これまでやってきたことだけではなく、また新たにどんなPRの方法がいいのかいろいろと考えなければいけないと思います。スマート図書館というのは先ほどから出ているデジタル田園都市で導入した仕組みですが、そこではLINE連携も同時に行っていますので、LINEでこういうことをやっていますというお知らせを常時流しています。また、先ほど委員からもあったとおり各公民館へPRに回ったり、そのLINEのお知らせをしたりということで、導入当初は電子図書館を利用される方が結構あったというふうに聞いています。

- ・このアンケートは、今後の図書館サービス充実の参考となる資料として取っているということですが、これはもう十年、二十年前から同じアンケートの企画で行っているものですか。それとも、途中で変わってきたのですか。

(回答) 毎年やっていたというわけではないようです。このデジタル田園の事業を行う際に、業績評価の指標を出さないといけないということがあり、その頃から毎年行っているものです。ですので、これが始まったのは2年ほど前からだと思います。その前には全くやっていたというわけではないのですが、毎年ではありませんでした。このアンケート内容についてはそのとき始まったもので、評価をするようなこともありますので、内容は変えずにそのまま統一してここ数年、2年ほどやってきたものだと思います。

- ・この資料はどこかでプレゼンか説明するために作った資料ですか。定例会用ではないですね。またはウェブで取ったらこういうデータとして出てくるのでしょうか。内容的には1ページぐらいの資料でいいと思ったのですが、ここにはグラフがいっぱいあるので、何か目的があってそうしているのかと思いました。グラフを使うのだったら、どうしても訴えたいところだけにグラフを使って、あとは数字だけでもよかったのではないかと思います。その辺はもしかして外部的に説明するなど何かしなければいけなかったのか、前からこういうパターンでやっていたのか、その辺はどうなのでしょう。

(回答) 教育委員会と、図書館協議会への報告用です。

- ・去年とあまり変わっていないという話でしたが、以前、監査委員から全日開館について意見がありました。図書館が毎日開いているほうがありがたいと思っていまし

たが、一方で人件費や光熱費を図書の充実に充てられるということを少し前に話したことを覚えています。あれからその点で何か進んでいるようなことはありますか。(回答) 来月に図書館協議会がありますので、そこでご意見を伺う予定にしています。

- ・相談していただくのも大事かと思います。もう一つはライフナビが結構、充実してきていろんな情報が入ってきます。例えば図書館でこんな本が入りましたという情報は入ってきていますか。

(教育委員の回答) 「新しい本、CDが入りました」というのは図書館 LINE で入ります。

(教育長の回答) 先ほどありました図書館の開館日のことについては、今度の図書館協議会でも相談するのですが、基本的には働き方改革も含めて全く休みがないということになると、確かにシフトはできるのですが、例えば図書館がずっと開いて、館長にいつ連絡が入ってきても不思議ではないという状況が 365 日続くというのはなかなかハードですので、そういうことも含めて一定の休日はあったほうがいいのではないかとこの相談もさせていただいています。

実は、ライフナビについては、通常の市役所のお知らせはそこには入れないでほしいという希望がありまして、それは、市の LINE のほうに入れていると思います。そこは申しわけないのですが、ご理解をいただけたらと思います。

このアンケート結果につきましても、次回にうまくつながれるようにしていきたいと思っておりますし、今度は中学校も新しくできますから、今ありましたように電子利用は圧倒的に学校が多いということでしたので、そういう部分もうまく膨らませていければ電子図書を入れた価値も高まっていきますので、そこら辺はまた一緒に相談できたらと思います。

#### 学校再編室長

2点報告します。

1点目、1月30日に第3回統合中学校の開校準備委員会を開催し、統合中学校の名前が加西中学校に決まりました。

2点目として、2月27日木曜日19時から、北部公民館で第6回泉小学校の開校準備委員会を開催します。今回の議題は二つで、小学校の体操服と、小学校の新しい校章をそれぞれ決めます。児童保護者のアンケート結果も参考にしながら、委員さんに体操服と校章を決定していただきます。

#### 教育委員の質問と回答

- ・1点だけお聞きします。中学校の制服を選定している段階ですが、どういうふうな

手順をたどって最後に決定するのか確認させてください。

(学校再編室長の回答) 今、各小学校で保護者と児童の皆さん向けに、3点の制服の展示をしています。その中から小学校の児童、小学生の保護者、中学校の先生方に投票いただいて、その結果で一番投票の多い制服に決定したいと考えています。

・小学生で決定するのですか。中学校の生徒は対象に入っていないのですか。

(学校再編室長の回答) 対象は小学校の4、5年生の児童と小学生の保護者、中学校の先生としており、中学生の生徒は入っていません。というのも、令和8年4月に中学1年生になるのは今の小学5年生であり、現中学生は直接着る機会がほぼないからです。ですので、小学4、5年生と小学生の保護者を対象にしています。また、9月に開催した制服の展示会にも、中学生やその保護者の来場はほぼありませんでした。それで、小学生と小学生の保護者の関心が高いということもありましたので、対象はそのようにさせていただいています。

・今の中学生が新制服についてどう思っているのか私は興味があったのですが、来場されていないというデータから言えば、興味がないということですね。

(学校再編室長の回答) もともとの制服のアンケート等には中学生にも協力していただいたのですが、実際、制服の展示会をしますと、中学生の来場はほとんどなかったです。

・もう一点、小学生の保護者のアンケートの回答率は高いですか。

(学校再編室長の回答) 今、順番に展示していつていますので、まだわかりません。

・前みたいな4%とかいう回答率ではないですね。

(学校再編室長の回答) 先週の土曜日には北条と北条東小で、それぞれの参観日に展示しましたし、前日21日は平日でしたが、富合と賀茂小でも参観日に合わせて展示させていただいていますので、それなりに投票していただけていると思います。最後に、3月13日から16日は市役所の市民ホールに展示する予定で、15、16日は土日で市役所は休みですが、市民課窓口の開庁日に合わせて展示をしたいと考えています。

(教育部長の回答) アンケート回答が4%という話ですが、少し私のほうで確認しました。あれは悉皆で全員アンケートに答えていただくということではなく、こういう方針になるのでご意見のある方については一応意見をおっしゃってくださいということでした。結果的に全体の4%の方からご意見をいただいたということです。少し補足説明させていただきます。

生涯学習課長兼市史文化財係長

生涯学習課から報告します。先週、正式に決まったことですが、3月15日土曜日13時半より玉丘史跡公園にて玉丘古墳の現地説明会を行うことになりました。詳細は今決めているところです。先ほどの教育長のご報告の中にもありましたが、生涯学習課では現在、玉丘古墳の整備を進めており、今回の整備で古墳の周濠の抜水をしたところ、築造当時の葺石がそのままの姿で保存されているということがわかりました。

周濠には今後、徐々に水が溜まっていきますので、水が抜けている間に築造当時に積み上げられた葺石の様子を市民の皆様に見ていただけたらと思います、この機会を設けました。3月15日は一般の方向けに行きます。この日は学年末ということなので、学校の児童生徒向けには日を決めず、3月から来年4月いっぱいぐらいの間に希望を取り、極力対応できるようにと考えております。また、15日のことについてはプレスリリース等を上げていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

#### 教育委員の質問と生涯学習課長の回答

- ・確認ですが、事前申込みは要らないのですか。時間に現地へ行ったらいいのですか。(生涯学習課長の回答) 駐車場だけ福祉会館のほうの横座公園へお願いすることにさせていただきますが、今のところ事前申込みを取る予定はございません。ただ、どれぐらい集まられるかという部分は全く想像がつかなくて、もしかしたら申込みについて少し検討してみるかもしれません。

#### 1 1 協議事項

なし

#### 1 2 教育委員の提案

- ・前回の会議のときにも言ったことですが、協議会や委員会に参加される方々について、もう何年も同じ方、同じ団体の方がおられたりします。それはどうかと疑問に思いましてじっくり考え、教育委員会でも考えさせていただきたいと思っておりました。そこで、任期を決めるのはどうかと思います。ずっと同じ方が出ていると馴れ合いになってしまっただけでは困りますし、いろんなことがわかっているので意見は出しやすいのですが、また新鮮な意見や今の時代の意見を述べることのできる違った人がいてもいいのではないかと思います。それで、任期を決めることについて考えていただけたらと思います。いかがなものでしょうか。お願いいたします。(教育部長の回答) 教育委員で合議いただいて方針を出していただければよいと思います。かねてから委員からご指摘は何度もお聞きしています。私たちもそうとわかりつつ同じ方をお願いしているところもあります。ルールが決まっていれば新たな方をお願いしやすいかもしれません。期間を決める方法がいいのか、これまでどお

りのやり方でいいのか、教育委員会としての方向性を決めていただければよいかと思ひます。

- ・教育委員会のほうから、例えば「青少年育成のこの人を一人か二人お願いします」と依頼しているだけですよね。それで、例えば青少年のほうから「この人を推薦します」というふうになるわけですよね。

(教育部長の回答) 例えば社会教育委員であれば、社会教育団体の方々を選ぶということで、その範囲の中で事務局が選んでいるかと思ひます。

- ・こちらから頼んでいるから、逆に言えば断ることはできないですよね。

(教育部長の回答) 毎年出席される方は長くいらっしゃる分、よく熟知しておられますので、事務局として正直に言えば、同じ方に出ていただくほうが運営がスムーズになる面があります。ただ一方、新たな視点からご意見をいただく機会という面では課題があると思ひます。教育委員に方向性を決めていただく話ですが、事務局とも協議しながら進めていただければいいかと思ひます。

- ・団体によっては任期があるところもありますよね。青少年育成とかはありますよね。でも、結局は継続しているのですよね。

(教育部長の回答) 任期があるところもあります。

(教育長の回答) 例えば任期が1年、2年とあっても、基本は再任を妨げないことになっているので、要するに委員の言われた意見というのは、いわゆる単純な任期ではなく、例えば何期までというように最長の任期を定めたほうがいいのではないかといいところですよね。今日、それをこの委員会で話しするのは難しいですが、まず大まかなところで教育委員会が所管するような事項については、基本的に最長の任期を定めたほうがいいというご意見が多ければ、事務的なところは教育委員会事務局のほうである程度原案をつくって、またお諮りすることはできると思ひますが、そういう方向でよろしいですか。

- ・少し思ったのは、学校や図書館運営審議会というようにある程度は自由に意見が言えるような委員会もあると思ひのですが、例えば文化財の審議会などものすごく専門的な知識が必要な会議というのもあるので、そこを一律に考えてしまうのは少し課題があるかと思ひます。特別に特殊な経験や見識が要るというような会議もあると思ひますので、そこも含めて十分に考えていったらどうかと思ひます。

- ・最長の任期を決めない限り、今の課題が解決しないというわけではないので、もう一回深く考えてみて、今すぐには答えが出ないのではないかという感じがします。

いつまでにといいわけではないですよ。

(教育長の意見) そうですね。ただ、来年すぐには難しいですが、この1年程度をかけてじっくりと話をすればいいのではないかと思います。あわせて、これは私の経験ですが、最長の任期を決めなかったとき、事務局のほうからそういうものがないのに、「じゃ、今回でお引き取りください」というのは、私の経験では現実には言いにくいですね。人と人との関係なので、これは正直なところですよ。ですので、お互いに気持ちよく委員をしてもらい、ある任期になったときにといいことを考えれば、そういう一定の枠組みはあるほうがいいのかなというの、個人的な意見として思っています。

ただし、委員が今言われたように審議会等には非常に特殊なものもあり、そのようにならない、または補導委員のように例えば勤続何年務めることが非常によいことであって、20年務めたら市や県からの表彰をされるというような委員もありますので、それに対して教育委員会が「もうそこで辞めるように」というのは言いにくい部分もあると思いますし、その辺はそれぞれに事情があろうかと思います。それは精査しながら考えていくということで、今後そういう方向も含めて考えさせていただくということによろしいでしょうか。

- ・学校図書室について、図書館のこととかも含めての提案です。小中学校の統廃合によって新たに図書館をつくって、そこに新たに本が入っていくというように学校図書館が変わるきっかけのある年が今後続くと思います。そして、司書が学校に就くというのはかなり難しい状況で、それは今後も続くのではないかとというのが実感としてあります。司書がいれば管理がうまくできていたのに、いなくなるとなかなか難しいということが以前から続いていて、今後もそういう状況が続く可能性が高いのであれば、せつかく学校図書が変わるといって機会に図書室の本の配置や管理の仕方を考えたらと思います。

今、図書館は基本的にNDCにのっかって管理をしていると思うのですが、そのいわゆる図書館のNDCの配置の仕方と民間の本の配置の仕方、それ以外に新しい学校でどうしようかということも含めて、ほとんど人が管理しなくてもできるような何かの仕組みや配置の仕方、管理の仕方があるのなら、この機会にそれも検討したほうがいいと思います。要は、また同じようにつくっても管理が大変となってしまう、同じような問題が出るのではないかと考えているからですよ。すぐにこうしたほうがいいというのは多分見つからないかもしれないですが、この機会に一応検討できればいいのではないのでしょうか。言いたいことはその辺のイメージですよ。

(教育部長の回答) 図書館長とも以前から話をしており、専属の司書の配置について、総合教育会議で要望を上げていました。必ずしも1学校に1司書という必要はないので、複数校で司書が置けたらという要望ですよ。

それから、統合して本を全部寄せると入り切らないので、必要な本だけ持ってくる方法を考えています。また、しばらく既存の学校は残ります。全てデータベースになっていますから、どこにどんな本があるというのはデータ管理でわかる状態になっています。今後どうやって運用していくのかについては、学校の先生方と検討していかなければならないと思っています。また、いろいろなご提案やアイデアをいただけたらありがたいと思います。

- ・数校に司書を就けたとしても同じようになる可能性は一応あって、基本的に学校が主体的に管理をするけれども、人が労力をかけなくてもできる仕組みを新たに加西独自でするなり考えることができれば一番いいのかなというのは思うので、その辺はなかなか難しいかもしれないですが、検討いただけたらと思っています。

- ・委員が言われたような管理方法を実際にやっている学校というのは、最近あるんですかね。

(教育部長の回答) それぞれの学校の先生がいろいろな事務分掌を持つ中、図書の担当をされる先生がおります。ただし、専属ではないので、今、求められるところまでできるのか、統合を迎えてそういった作業ができるのかと考えると、現状ではなかなか厳しいのではないかと認識しています。

- ・全国でどこかそういう例がないのですか。

(教育部長の回答) 小中学校の統合に向けて、そういった学校司書を配置できれば、図書館と連携をしたり、学校で図書関係のいろいろな学習をやっている中で企画を考えたりできるので、一番いいかと思います。

- ・いわゆる図書館の管理の仕方というのは、万が一ちょっとでも人が空くとたちまち管理がしづらくなるような仕組みです。私も新しいことを何か提案できるわけではないのですが、そのやり方は結構、厳しいので、その辺はまた話を聞いていただいて、民間のほうは普通の本屋さんでまた違うやり方があるようなので、どういう方法があるのか民間のほうも含めて、新たに何かできる方法があるのか検討をお願いしたいと思います。

(教育部長の回答) 4小学校が統合するに当たり、本の選別を誰が行うかというところから、早急に考えていかなければいけないと思っております。実際、小学校には司書をお持ちの先生方は大勢おりますが、なかなか専属で関わられません。教員とは別に司書の資格のある方があればと思います。

- ・図書館司書と学校司書というのは資格が少し違います。

(教育長の回答) たくさんの本があるのでどういうふうにするかということもあります。それから、今、委員が言われたのは、例えばいわゆる市立図書館と同じような本の管理をしようと思うと、ある程度の専門的な知識等が要るので、逆にそういう方がいないところでは難しくなることもあるのではないかとということですよね。ですから、同じような分類ですと専門の知識のある方がいるときはいいけれど、いわゆる一般の学校の先生がその子どもたちに本を貸し出したりいろいろとしたりするとき、専門の知識のある方がいないので、逆に管理ができなくなるということです。本に限らずいろんなデータベースも含めてよくあることです。

私には具体的なことはわかりませんが、そこはよく相談していただいて、簡単に言えば学校の先生でも誰でも簡単に管理ができて、子どもたちも簡単に本が見られて、なおかつ今は電子化が非常に進んでいるので、物によっては電子図書で必要なものが手に入るというような非常に簡素化された仕組みができたら、いいのではないかとしたいと思います。一度そういうことも含めて相談したいと思いますので、またよろしくをお願いします。

- ・これは教育長への要望です。教育長にはいつも定例会の前、今までしていなかった事前の会議をしていただいて、大変ありがたく思っています。ただ一方、重要な事項はずっと事前に報告していただきたいとか、なかなか忙しい中で協議させていただけないこともあるので、今後その辺については教育委員会制度の趣旨もご理解いただいて、何とか事前の相談や報告なりをしていただけたらというのが、以前から申し上げていますが、私からの要望です。

(教育長の回答) とにかく情報をできるだけお伝えしてお話ができるようにしていきたいと思います。基本的には制度の趣旨に沿ってしっかりとやっていきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

### 1 3 今後の予定について

- ・令和7年第3回定例教育委員会 3月28日(金) 13:30～1階多目的ホール
- ・令和7年第4回定例教育委員会 4月22日(火) 14:00～1階多目的ホール

### 1 4 その他

なし

### 1 5 質問及び討議の内容(非公開)

議案第2号 令和7年度加西市立公立学校の管理職人事内申について

16 議決事項（非公開）

議案第2号 令和7年度加西市立公立学校の管理職人事内申について

原案どおり可決

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和7年2月25日

出席者

(出席者署名)